

令和元年度「ひろしま里山グッドアワード」の結果報告について

令和2年4月17日
中山間地域振興課

1 趣 旨

中山間地域にあるものを活かして新しい価値の創造につなげている取組を表彰する「ひろしま里山グッドアワード」について、令和元年度は19件の応募の中から、次の取組を「さとやま未来大賞」及び「未来のたね賞」に決定し、令和2年3月27日に表彰式を開催した。

2 受賞者

次のとおり「さとやま未来大賞」及び「未来のたね賞」を決定した。

最優秀賞
さとやま未来大賞 … 観光地を体験と学びの場に「三段峡野外博物館プロジェクト」
(実施主体：特例認定NPO法人三段峡-太田川流域研究会)

概要	特別名勝「三段峡」の自然環境を活用し、子どもたちへの環境教育プログラムの提供や環境省SDGs研修などを実施し、三段峡に、観光地としてだけでなく、体験・学びの場としての新たな価値を見出した取組。
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源への新たな価値付けをされている。その価値をベースとした連携の多様性が認められる。 ・ 地域資源を活かした教育や観光産業は各地で取り組まれているが、特に企業や行政とも深くタイアップしながら本格的に活動しているところに継続の可能性が感じられる。 ・ 今に残る価値を本当に理解している人たちが、ふるさとの振興のために行っている。



優秀賞
未来のたね賞 … 里山エネルギーグループ まき (実施主体：薪ライフ)

概要	手つかずとなっている山林の木から薪の製造・販売を行い、一度は途絶えた木と火の文化を取り戻し、山への関心を高め、山の価値に気付いてもらうという活動。
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里山の雑木を燃料利用できないかというのは、日本の自然エネルギー利用を進めるためにも極めて大きな課題。 ・ 都市部での薪利用促進という方法で取り組む本プロジェクトは、里山と都市が近い広島県ならではのものである。 ・ 石油等は資源の枯渇や価格が不安定という懸念がある一方で、薪は昔からある最も身近なエネルギーであり、薪ストーブの人気の高まりなど需要の拡大も見込まれ、将来性も感じられる。



3 今後の予定

「さとやま未来大賞」に決定した取組について、他の地域づくり活動の参考となるよう、本年度、映像化を行う。

(参考)

令和元年度「ひろしま里山グッドアワード」の概要

■ 事業名	ひろしま里山グッドアワード
■ 趣旨	中山間地域にあるものを活かして新しい価値の創造につなげている取組を表彰し、そのプロセスやノウハウを共有することによって、中山間地域の取組の更なる普及促進を図る。
■ 募集対象	中山間地域にあるものを活かして新しい価値を創り出している取組 (自薦・他薦は不問、個人・団体いずれも可)
■ 賞の名称	さとやま未来大賞:1件, 未来のたね賞:1件
■ 募集期間	令和元年8月19日(月) ~ 10月31日(木) ※応募件数19件
■ 一般投票	令和元年12月16日(水) ~ 令和2年2月21日(金) インターネット投票等を実施 ※投票数1,586票
■ 選考方法	一般投票及びアドバイザーの意見を参考に決定
■ アドバイザー	藻谷 浩介氏 ((株)日本総合研究所 主席研究員) 曾根原 久司氏 (NPO法人えがおつなげて 代表理事) 新里 カオリ氏 (立花テキスタイル研究所 代表)
■ 表彰式	令和2年3月27日(金)14時より県庁において実施 
■ 奨励賞 (順不同)	・黄金の島再生プロジェクト(一般社団法人とびしま柑橘倶楽部) ・ヤマモトロックマシン旧自治寮活用プロジェクト(東新会) ・里山資源「竹藪」活用プロジェクト(中国四国里山整備振興会) ・里山エネルギーグループ(薪ライフ) ・観光地を体験と学びの場に「三段峡野外博物館プロジェクト」 (特例認定NPO法人三段峡一太田川流域研究会) ・鹿革プロジェクト(iegoto) <p style="text-align: right;">以上6件</p>